

博物館が伝えるハーバリウム ～樹脂封入標本づくり～

植物など（他に羽根や昆虫など）の標本を使って、博物館の展示で使う「樹脂封入標本」の作成を体験します。作業の合間には、標本収蔵庫の見学や標本の意義について学ぶ講義なども予定しています。自分で作ってみたい方、博物館の活動や標本に興味のある方にオススメです。



令和2年 11月 14日(土)・15日(日)

両日とも 10:00～16:00 (2日連続講座)

講師：吉沼利晃さん(苫小牧総合経済高校教諭)、当館学芸員

場所：苫小牧市美術博物館 研修室

対象 高校生以上 ※2日とも参加できる方

定員 6名(先着順)

参加費 なし

持ち物 汚れても良い服装、昼食

応募方法 11月1日(日) 9:30より電話で受付

内容 1日目：型に樹脂を流し込み、標本を入れる

2日目：型から出し、研磨する



水草の乾燥標本

★ハーバリウム、樹脂封入標本とは

「ハーバリウム herbarium」とは、植物標本集や植物の標本庫のことです。当館には数百点以上の植物標本が収蔵庫収められています。「樹脂封入標本」はポリエステルなどの樹脂で乾燥した生物の標本を封入したもので、体験型の展示などで活用されています。

主催・申込：苫小牧市美術博物館(担当：江崎) TEL:0144-35-2550